

## 第2章 海士町における実践活動紹介

平成 18 年度海士町「共生・対流事業」社会実験実績は、実践活動総合計として、来訪 683 名、町内 3,846 名の参加を得ることとなった。

### 1. AMA ワゴン・出前授業の実施内容および成果

AMA ワゴンから派生した活動を含む来訪参加者は延べ 259 名、町内は 1,754 名を数える。

#### (1) 年 5 回+ の出前授業/超一流講師を海士町へ

各回の講師であるが、先述のとおり若くて先端で活躍している人々をお願いすることにした。若い感性で中学生に近い視点でしゃべってもらいたいという願いもあったし、離島ではなかなか聴くことのできない先端の事情を話してもらうことで中学生に広い視野を培ってほしいという願いもあった。

また、学生ともつながりが深く、学生のオピニオンリーダー的役割を担っている人という条件も設定した。その結果、自分より下の世代と付き合うことに慣れていて授業がやりやすいということと、講師に学生が同行してくれることで補佐役として講師がその力を最大限発揮してもらえ、また運営側としても各回の学生の募集の負担が減ることなどのメリットがあった。

第 1 回、5 月の授業で講師を務めたのは岩本悠氏。東京学芸大学在学中に 1 年間休学し、世界 20 ヶ国を放浪。その経験を書き綴った「留学日記」を 03 年 9 月に出版し 1 万 2 千部のベストセラー。その印税でアフガンに学校を建設するという構想のもと、学生を主体とした団体「ゲンキ地球(だま)NET」を立ち上げ、04 年 9 月に学校建設に成功している。

授業では体感型ワークショップ「留学ゲーム」を実施した。「留学ゲーム」は「ゲンキ地球 NET」が公立中学校・高校向けに提供しているワークショップである。教室の中にいながら生徒たちに「世界と自分のつながり」を感じてもらうことを狙いとして作成されたもの。海士の中学生は実際に「南アフリカのスラムの少年」や「ドバイの石油王の息子」などの衣装に扮し、あいさつや文字・文化を学ぶことで世界を体感した。

第 2 回は、プレゼンテーションやビジネスコミュニケーションなどの企業研修を専門とする女性起業家、樋栄(ひえ)ひかる氏。授業内容は「インプロ(即興劇)でコミュニケーションを学ぶ」。翌々週の海士中学校文化祭で演劇の催し物があるということでそのトレーニングを兼ねての即興劇体験となった。リズムに合わせてしりとりといった簡単なウォーミングアップから入り、劇の台本を極端に感情を変えて即興で演じてみるなどの発展的なものまで充実した 2 時間授業になった。

第 3 回は、慶應 SFC で講師を務める井上英之氏。社会起業研究では国内最先端といってもよいだろう。「社会起業入門～隠岐で考える、世界の変え方」と題して、海士の自分の身の回りでおきている身近な問題発見からその解決策を考えるグループワークを行った。世界の社会起業の最先端事情も踏まえつつ、その一歩は身近な問題発見から始まることを説き足元から変化を生み出していくことの大切さを説くという贅沢な内容。

最後は瀬戸内海の家島という場所で実際に「島おこし」に挑戦している西上ありさ氏。

「しまづくりと紙力」と称し、中学生 60 人が海土の魅力と悩みを 2 時間でまとめ、実際に 180 頁の本にしてしまおうという画期的な内容。専門とする都市計画の手法を踏まえつつ、都市計画における魅力と悩みの把握の重要性を解説。西上氏が実際に手がける兵庫県家島町におけるしまづくりの取り組みも取り上げ、「島は作るもの」という感覚を中学生に体験してもらった。

表 2-1 各回講師の授業内容と主たるプロフィール

日時	講師名・授業内容	所属・主宰団体	著書	主な専門分野
06年 5/18	岩本悠氏 教室で世界を体験する 「流学ゲーム」	ゲンキ地球 NET 初代代表、 ソニー社員を経て 07.1 月より海土町教委	『流学日記』 など	コーチングその他の企業研修、学校教育
9/1	樋栄ひかる氏 インプロ(即興劇)でコミュニケーションを学ぶ	(株)e-na communication 取締役社長、異業種交流会テキーラズ代表	『Yes, and で、すべてうまくいく!』など	心理学、プレゼンテーション、コミュニケーションなどの企業研修
10/6	井上英之氏 社会起業入門～隠岐で考える「世界の変え方」	慶應義塾大学講師 NPO 法人 ETIC. シニアアドバイザー	『世界を変える人たち』 など	社会起業、コミュニティ投資、公共経営
(4 回目は海土 東京への逆ワゴンツアー実施のため出前授業実施せず)				
11/27	西上ありさ氏 「島作りと紙力」～海土の魅力と悩みをまとめて 180 頁の本に	Studio-S 代表、「探られる島・家島」プロジェクト代表		都市計画、ランドスケープコンサルタント

また岩本氏・樋栄ひかる氏には海土での交流を通し、強い海土ファンになった。また今回の「出前授業」というスタイルに大きな可能性を感じ、リピートで訪問してもらった。そこで以下のような形で地元住民・地元小中高生向けにワークショップや講演などを行い、交流および島の教育の活性化に一役買ってもらった。

表 2-2 派生したワークショップ・講演内容一覧

日時	講師	内容	対象	参加人数
06年 8/5	岩本悠氏 + ゲンキ地球 NET メンバー	「流学ゲーム」国内版：世界から国内へと視野を広げる	地元小中高生	30
06年 10/17-18	岩本悠氏、谷口氏 (元ウィルシード社副社長)	貿易ゲーム in 海土：教室で経済感覚を理解する超人気研修	地元小中高生	60
07年 2/19	樋栄ひかる氏	出張コミュニケーション授業 in 海土中学校	海土中学校	60
07年 2/20	樋栄ひかる氏	トークライブ：人生をワクワク生きているカッコイイ大人と語ろう	海土町住民	100